

瀬戸内Finder 1月人気記事TOP 5



地元ライターによる
瀬戸内情報発信中！
<http://setouchifinder.com>

- #1  **絶景すぎる稲荷神社**
山口県
- #2  **農家直営いちごカフェ
ソオタス**
山口県
- #3  **周防大島に行ったら
山に登ろう♪**
山口県
- #4  **山口県の超絶景
マト8選！**
山口県
- #5  **レトロな町並みが似合
いすぎるお洒落カフェ**
広島県



メディア掲載実績

- NYタイムズ掲載
- 1月10日 NHK、共同通信社、神戸新聞NEXT、SankeiBizほか多数
- 1月11日 中国新聞、山陽新聞、四国新聞、TBS「news every.」、「News23」ほか多数
- 1月12日 日経新聞、朝日新聞
- 1月15日 読売新聞、瀬戸内海放送、中国放送
- 1月18日 朝日新聞
- 1月22日 読売新聞
- サイクルシップ
- 1月18日 中国新聞
- 瀬戸内ミーティング
- 1月23日 愛媛新聞

米 The New York Times 「2019年行くべきディステーション」 “Setouchi Islands”が日本で唯一選出

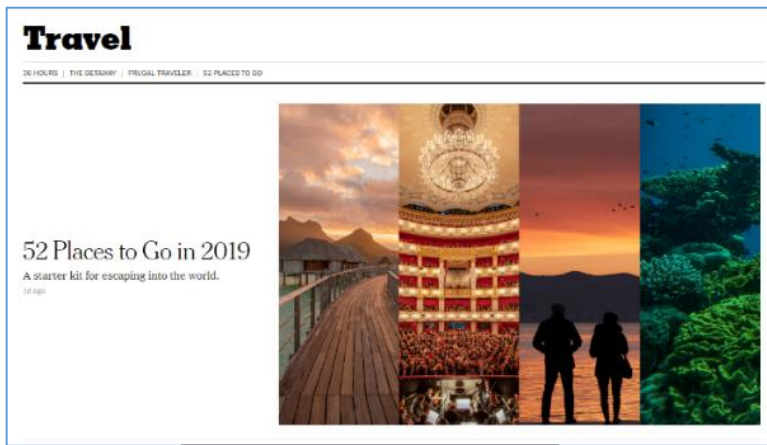
昨年末から、世界の旅行市場に影響を持つ複数のメディアが、2019年の旅行業界のトレンドをつくるきっかけとなる「2019年行くべきディステーション」を発表し、“SETOUCHI(瀬戸内)”が続々とランクインしています。こうした中、米国で最も著名な媒体の一つであり、国際的な影響力も大きい「The New York Times」が1月9日に電子版で発表した「52 Places to Go in 2019」においても、第7位に“Setouchi Islands”が日本で唯一選出されました。同ランキングは1月13日に紙面でも紹介されています。

《掲載内容概略》

記事では、瀬戸内国際芸術祭をはじめ、しまなみ海道のサイクリングや昨年就航したサイクルシップ・ラズリ、広島平和記念資料館のリニューアルオープン、さらにはベンチャー企業が企画する人工流れ星プロジェクトなど、2020年の東京オリンピックまで見所が目白押しのエリアとして紹介されています。

【The New York Times電子版】

(URL <https://www.nytimes.com/interactive/2019/travel/places-to-visit.html>)



▲52Places to Go in 2019 トップ



▲香川県三豊市紫雲出山からの眺望

せとうちDMOは、主要ターゲットとしている英・独・米・仏の欧米4市場において、昨年度より各国の旅行業界に精通したマーケティング会社を現地に設置し、現地メディアや旅行会社への戦略的なマーケティング活動を行ってまいりました。欧米の各有力旅行雑誌が「2019年行くべきディステーション」について発表するこの時期は、まさに欧米の人々が2019年の旅行についての検討を始め、Web上でも旅行に関する検索ワードが増えるタイミングでもあります。

2018年12月のナショナル・ジオグラフィック・トラベラー英国版で“SETOUCHI”が1位に選出されたことに続き、今回「The New York Times」に取り上げられたことは、瀬戸内が世界の旅行先として認められ始めた結果だと捉えています。

今後も、世界に向けて“SETOUCHI”のプレゼンスをあげていくとともに、域内外の地域の皆さま、事業者の皆さまと観光資源やサービスの磨き上げに取り組み、2020年の目標である訪日外国人延べ宿泊者数600万人泊（瀬戸内7県）と観光消費額2,400億円の達成を目指してまいります。

海外メディア74媒体で掲載

12月は74媒体で瀬戸内エリアが取り上げられました！（内訳：アメリカ：5、イギリス：55、フランス：10、ドイツ：4）先月に引き続き、欧米の各有力旅行雑誌において「2019年行くべき destinations」として瀬戸内がランクインしました！2019年に開催の瀬戸内国際芸術祭や、ラグビーワールドカップとあわせての瀬戸内エリアの紹介がされるなど、瀬戸内の注目度が高まっています。

NATIONAL GEOGRAPHIC TRAVELLER

Home / Smart Travel / Features / The Cool List 2019

The Cool List 2019

Featuring everything from futuristic cityscapes and modernist architecture to pristine rainforest and rehabilitated wildlife, we bring you the 19 destinations set to hit the headlines in 2019.



英「National GeographicTraveller.co.uk」

19 for 2019

This year's must-see destinations

- 01 Setouchi
- 02 Antarctica
- 03 Pittsburgh
- 04 Corsica
- 05 Cambodia
- 06 San Miguel de Allende
- 07 West Yorkshire
- 08 Hong Kong
- 09 Zimbabwe
- 10 Guyana
- 11 Oslo
- 12 Eritrea
- 13 KwaZulu-Natal
- 14 Bhutan
- 15 Dundee
- 16 Uganda
- 17 Matera
- 18 Indonesia
- 19 Sibiu

媒体接触者数：約19,000部/月

<The Cool List 2019>

2019年に行くべきスポット



掲載スポット

- 【兵庫】神戸市御崎公園球技場、神戸牛
- 【岡山】倉敷
- 【広島】広島
- 【香川】直島、瀬戸内国際芸術祭
- 【愛媛】松山 など

2018/12/4掲載

<http://www.natgeotraveller.co.uk/smart-travel/features/the-cool-list-2019>

米「Matador Network」

媒体接触者数：約381万インプレッション/月

<The coolest things opening around the world in 2019>
2019年に注目すべき世界の最新スポット



2018/12/21掲載

<https://matadornetwork.com/read/coolest-things-opening-2019/>

英「City A.M.」

媒体接触者数：約86,000部/月

<Get to the art of Japan>
日本のアートに触れよう



2018/12/10掲載

その他の記事は、サイト「SETOUCHI TRIP」MEDIA & TRAVEL TRADE
「SETOUCHI in the News」をご覧ください。

National Geographicが瀬戸内を取材！

せとうちDMOは、世界180カ国で年間850万部発行される雑誌社、National Geographic（仏国版）の取材の誘致に成功し、12月17日～23日にかけて取材ツアーを実施しました。

今回の行程は、National Geographic という雑誌が持つ「人」「歴史」「そこにしかない風景」というような世界観に合わせて、その土地で暮らす人々の生活感や瀬戸内の歴史、風景を感じていただけるような場所をご案内しました。

宿泊した民宿では、地元の方に本当に温かく迎えていただき、夜遅くまで色々なお話を聞かせていただきました。ご案内いただいた施設の方や、地元の方々のご協力により、今回訪日された2名の記者にも、さまざまな瀬戸内の魅力を感じていただけたのではないかと考えております。

旅行雑誌「National Geographic Traveler（英国版）」の「The Cool List 2019」では2019年に行くべき観光地として“SETOUCHI”が1位を獲得しました。今回のツアーについても春頃の大きな露出を目指し、引き続き現地のエージェンシーを通じて、継続的にフォローアップを行ってまいります。

2018年12月17日～23日



広島県立図書館にて、瀬戸内の鳥瞰絵地図で歴史をご説明しました



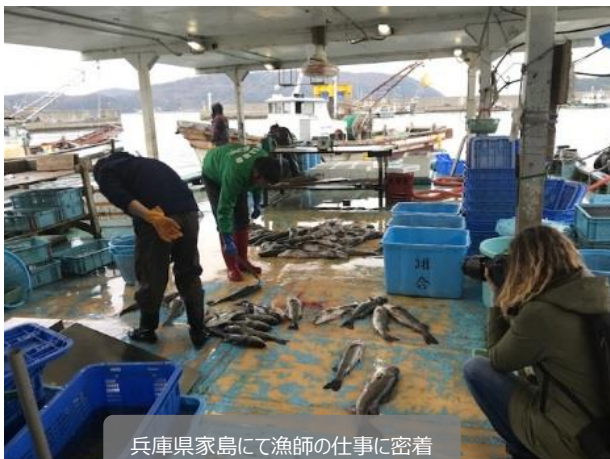
岡山県倉敷市の旧野崎家住宅にて塩田の歴史を見学



民宿での温かいおもてなし



香川県本島の伝統的町並みを撮影



兵庫県家島にて漁師の仕事に密着



穏やかな瀬戸内海を見つめる

瀬戸内ブランドに11商品を追加

せとうち観光推進機構は、瀬戸内ブランド登録商品として新たに11商品を「瀬戸内ブランド」に登録しました。

これまで、瀬戸内ブランド登録商品として、309社897商品を、また「瀬戸内ブランドサービス」として24社41サービスを登録してきました。今回、新たに加わることで、334社より908商品41サービスが展開されることとなります。(内、269商品・19サービスは2018年12月21日現在販売終了)

豊富で品質の高い瀬戸内の商品・サービスを“瀬戸内ブランド”として登録していくことで、国内外から認められるブランドの確立を目指してまいります。

※新たに登録された商品は次の通りです。(詳細は下記リンク先をご参照ください。)

http://setouchitourism.or.jp/ja/wp-content/uploads/sites/2/2018/12/20181221brand_shosai_ichiran.pdf

平成30年瀬戸内ブランド【新規】12月登録商品一覧表

No	企業名	所在地(県・市)	商品名
1	株式会社洋菓子のヒロタ	東京都新宿区	瀬戸内レモンのシューアイス
2	万汐農園	広島県尾道市	蜜柑ぷりん
3	寺岡有機醸造株式会社	広島県福山市	大田記念病院が考えただしつゆ
4	酪農Café Mou Mou Kitchen	岡山県笠岡市	瀬戸内レモンカタラーナ
5	株式会社 八百金	広島県広島市	瀬戸内海産 きざみめかぶ
6			瀬戸内海産 べいか煮干し
7			塩無添加食べる小魚
8			瀬戸内海産 干しえび
9			海人の藻塩麴
10	亀田製菓株式会社	新潟県新潟市	手塩屋ミニ レモンベッパ味

☆12月瀬戸内ブランド登録商品11品の内、1商品は発売前のため未掲載です。

2018年12月21日

せとうちグルメフェスが東京で開催

「せとうちグルメフェス」が1月12日(土)～14日(月・祝)の3日間、上野恩賜公園(東京都台東区)にて開催されました。このイベントは、瀬戸内の魅力をPRし「観光誘致」「ご当地グルメのPR」の場として、今回が初めての開催となります。主催はせとうちグルメフェス実行委員会、瀬戸内7県およびせとうち観光推進機構などが後援しました。

会場は上野駅から近く、上野動物園や東京国立博物館、国立西洋美術館などに隣接しており、三連休ということもあって若い家族連れを中心に外国人なども来場し、当初想定の2倍近い約9.7万人が訪れました。来場者は、瀬戸内の牡蠣・瓦そば・お好み焼き・酒・鯛めしなどのグルメを楽しんだり、瀬戸内の産品を購入するなど大変楽しまれていました。観光ブースでは、各県の観光パンフが設置され、「実際に瀬戸内へ行きたくなった」と多くの方が持ち帰っていました。

今回のフェスでは、瀬戸内の観光地・産品の首都圏での認知拡大を図ることができました。主催者様は来期以降の開催も検討されているとのことで、今後の取り組みも期待されます。



2019年1月12日～14日

瀬戸内アカデミーを開催（第4回）

今年度最後となる、第4回瀬戸内アカデミーを1月21日に香川県高松市で、1月22日に広島県広島市でそれぞれ開催しました。第1部は「広告の作り方～すべてはコンセプトから、その考え方と作り方～」と題し(株)ボーダーリズムの酒井文也さまを、第2部は「人が動き出す言葉のつくりかた」と題し(株)U.Sの朝本康高さまをそれぞれ講師にお迎えし、ご講演いただきました。今回は第1部で広告の核となるコンセプトの考え方を学び、第2部でそれを実際に自分で考えるワークショップという構成でした。マーケティングの考え方と、ターゲットの購買につなげるための的確なコンセプト設定について、基本から学ぶことができた1日でした。

参加者からは「ワークショップ・参加型で実際に体験できたのが良かった」等といったお声もいただき、非常に好評でした。今年度の瀬戸内アカデミーは全4回とも、マーケティングスキルの向上をテーマに実施してまいりました。全体を通して多くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

来年度もせとうちDMOメンバーズ会員の皆さまの事業にお役に立てるよう、サービス内容を検討してまいります。



講師の酒井さま、朝本さまと高松会場参加者のみなさま



講師の酒井さま、朝本さまと広島会場参加者のみなさま

2019年1月21日・22日



せとうちDMO NEWSのご感想をお聞かせください

せとうちDMO NEWSが皆さまのお役に立てるものとなるよう、アンケートを実施しております。
下記バナーより簡単に匿名で回答できますので、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

[アンケートに回答する](#)